

東日本外壁仕上業協同組合(☎03-3374-3981)  
近畿外壁仕上業協同組合(☎06-6533-0768)

福岡外壁仕上業協同組合(☎092-512-9141)  
愛媛県仕上工業協同組合(☎089-926-2067)

## 東日本外壁仕上業協同組合など3地区で 登録外壁仕上基幹技能者・認定講習を実施

東日本の合格者は20名。全国3地区で67名が合格

東日本外壁仕上業協同組合(高橋敦也理事長)は11月3日(土)、4日(日)の2日間に亘り東京・新宿区の日建学院・新宿校で登録外壁仕上基幹技能者の認定講習会を開催した。

講習会は、8時30分、野口会長の挨拶に続き、小野澤専務理事によるガイダンスがあり、9時よりスタート。大平延行講師(富士訓練センター)による「一般知識」(基幹技能者のあり方、話し方・OJT、関連法令(関連法規について)についての講義があった。昼食を挟み午後1時より5時30分まで小野澤講師による「現場管理」(施工管理、品質管理、資材管理、事務管理)についての講義があった。2日目は8時30分より11時30分まで小野澤講師による「現場管理」(原価管理、安全管理、調査・診断、下地処理)についての講義があった。

昼食後の12時30分より15時30分まで同講師による「専門技術」(仕上材料について、仕上工法について)、「現場管理」(工程管理)について講義が行われた。さらに休憩時間を挟み15時45分より2時間にわたって「試験」が実施された。この結果、20名が合格した。

冒頭、小野澤昭専務理事によるガイダンスに続き、野口会長は「一級技能者資格は、建築現場の職能の要として今後益々重用される状況にあります。更に上位の登録基幹技能者を目指す上で、必須の資格であります。一人で



近畿地区の講習会のもよう。  
講師は小野澤専務理事。

も多くの皆さんの合格を期待しています」と激励を込めて挨拶した。

一方、近畿外壁仕上業協同組合(神農竹夫理事長)も大阪市の日建学院・梅田校で11月17日(土)、18日(日)の2日に亘って講習会および試験を行い、35名が合格した。

また、愛媛県仕上工業協同組合(池田貞伸理事長)は、11月10日(土)、11日(日)午前8時30分より松山市の愛媛県男女共同参画センターにおいて同講習会と試験を行った。この結果、外壁仕上一級技能者新規受講者12名が合格した。

以上の結果、全国3地区で67名が合格した。小野澤専務理事によれば、「この一級技能者資格は、外壁塗装の分野における技能資格であり、顧客に対する品質確保の安心・安全を与えるものとなります。更にこの資格を受講要件とする最上位の登録基幹技能者を目指すことが、技能者が段階的にスキルアップしていくための大きなステップとなるものです。登録基幹技



愛媛地区での講習会のもよう。  
講師は大平延行氏。

能者は国土交通省も奨励している資格制度であり、建設現場での一定数の配置を義務づけるなど今後益々、重用される資格で今後は合格のハードルも上っていくのが予想される。」と話している

登録基幹技能者制度は、建設産業の労働生産性の向上、品質・性能・安全の確保のために建設32業種41団体で整備されている制度。基幹技能者は、専門工事業種ごとの高度な専門知識・技能を有するだけでなく、建設一般に関する幅広い知識を有する人材。登録外壁仕上基幹技能者は、塗装・吹付分野での熟練技能者、上級職長に位置付けられる。登録外壁仕上基幹技能者になるためには、塗装・吹付分野での10年以上の実務経験と3年以上の職長経験が必須となる。そのうえで、外壁仕上一級技能者合格者または国土交通大臣優秀施行顕彰者(建設マスター)であるという条件が必要となるため、今後、多くの受験者がチャレ

ンジしてくるものと思われる。

また、登録基幹技能者は国土交通省も奨励している資格制度であり、同省は「基幹技能者」を今後、建設業法で定める「主任技術者」と同様に位置づけることを決めている。

登録基幹技能者に対する経営事項審査(経審)の加点についても、Z(技術力)の評価項目の中で、一人当たり一律3点の加点が実施されている。また、多くの公共工事における総合評価落札方式では、登録基幹技能者が施

工することにより加点されることとなる。さらに、大手ゼネコンの協力を得ることを通じて、基幹技能者の賃金を底上げしていきけるような制度も展開されており、登録基幹技能者への期待は拡大しつつあると言える。日本外壁仕上協同組合連合会は、国土交通省令第3号建設業施工規則の一部を改正する省令(平成21年4月28日付)に基づき、登録基幹技能者認定講習会を運営実施する認定団体として認定登録されている。

## 30年度 第3回講習委員会会議開催

登録外壁仕上基幹技能者講習委員会(田中辰明委員長/御茶ノ水女子大学名誉教授)は平成30年度第3回会議を12月3日(月)午後3時より東京・秋葉原のNPO湿式仕上げ技術センター会議室で開催した。冒頭、田中委員長が「登録外壁基幹技能者は外壁仕上工事の技能・技術の平準化は勿論、現場管理の上からの益々重い役割を担うこととなります。本委員会としては公平かつ適切な講習内容と試験問題作りに努めたい。引き続き各位のご協力をお願いします」と挨拶した。

議案は①平成30年度・講習(11月実施)の結果について(各地区の受験者数、試験結果、合格基準点の決定等)、②平成31年度・講習会の開催予定について、③平成31年度・登録基幹技能者講習の課題について(テキストの変更、テキスト変更の伴う試験問題と講習内容の変更点等の確認、講習内容変更に伴う資料の新規作成、元号変更の伴う修了証のデータベース登録



田中辰明委員長

の対応について)、④登録基幹技能者講習事務の取り扱いについて(国交省からの通達関連)、⑤国交省による講習機関・5年更新審査の実施について、等。

当日の出席者は、田中委員長のほか、委員を務める小俣一夫氏(NPO湿式仕上げ技術センター顧問)、丸山高司氏(大成建設)、大平延行氏(富士教育訓練センター)、野口陽一氏(日本外壁仕上業協同組合連合会会長)、高橋敦也氏(東日本外壁仕上業協同組合理事長)、西川岳氏(東日本外壁仕上業協同組合常務理事)、小野澤昭氏(専務理事)の8名。

### ■ 40年の歴史をもつ全国組織です ■

日本外壁仕上業協同組合連合会(本部/東京都/会長/野口陽一:略称NGS)は、昭和42年に日本建築仕上材工業会の前身である日本防水リシン工業会の施工部門が独立して設立された建築吹付工事の専門家組織です。今日、外壁仕上協同組合連合会所属の会員会社は、吹付・塗装を業務の核としながらも、屋根・防水・内装工事など幅広い事業展開をしており、時代が求める総合リフォームのプロ集団へと変貌を遂げつつあります。国土交通省の行政指導のもと以下の全国5地区に事務所を置く協同組合の連合体です。活動状況など詳しくは本部事務局または各組合事務局にお訊ね下さい。  
 □東日本外壁仕上業協同組合(理事長:高橋 敦也)  
 □近畿外壁仕上業協同組合(理事長:神農 竹夫)  
 □愛媛県仕上工事業協同組合(理事長:池田 貞伸)  
 □福岡外壁仕上業協同組合(理事長:川口 大介)

### ■ 登録外壁仕上基幹技能者を育成 ■

登録基幹技能者制度は、建設産業の労働生産性の向上、品質・性能・安全の確保のために建設27業種35団体で整備された制度です。基幹技能者は、専門工事業種ごとの高度な専門知識・技能を有するだけでなく、建設一般に関する幅広い知識を有する人材です。それゆえに、現場の実態に応じた的確な施工方法を技術者に提案することができ、関連業種との調整能力も発揮する人材です。

また、効率的な工事推進のための優れた現場管理能力・原価管理能力を有し、建設産業の労働生産性を高めることに資することのできる人材です。登録外壁仕上基幹技能者は、塗装・吹付分野での熟練技能者、上級職長に位置付けられます。建設現場で働く技能者をリーダーシップをもって束ね、指示・指導しながら、優れた塗装・吹付工事を達成できるよう努める人材です。登録外壁仕上基幹技能者になるためには、塗装・吹付分野での10年以上の実務経験と3年以上の職長経験が必須となります。そのうえで、外壁仕上一般技能者合格者または国土交通大臣優秀施工顕彰者(建設マスター)であるという条件が必要となります。

当該資格は、吹付塗装の分野における最上位資格であります。登録基幹技能者を目指すことは、技能者が段階的にスキルアップしていくための大きな目標となります。国土交通省は、登録基幹技能者に対する経営事項審査(経審)の加点について、Z(技術力)の評価項目の中で、一人当たり一律3点を加点することを決定しています。国土交通大臣に登録をした機関が実施する登録基幹技能者講習を修了し試験に合格した者は、新たに経営事項審査で加点されることとなります。さらに、大手ゼネコンの協力を得ることを通じて、基幹技能者の賃金を底上げしていきけるような制度も構築されており、基幹技能者への期待は拡大しつつあります。日本外壁仕上業協同組合連合会は、国土交通省令第3号建設業法施行規則の一部を改正する省令(平成21年4月28日付)に基づき、基幹技能者認定講習会を運営実施する認定団体として登録されました。講習は、建設業法施行規則第18条の3の6の規定に基づき「登録建設塗装基幹技能者」の認定を行う講習会であり、当該資格を取得するためには、この講習を受け、試験に合格する必要があります。吹付・塗装分野に携わっておられる方は、積極的に登録外壁仕上基幹技能者試験の受験をお勧め致します。登録基幹技能者の具体的役割は、建設工事現場の要となる、上級職長として、以下の役割を通じて効率的で生産性の高い工事を実施する者を指します。

1. 現場の状況に応じた施工方法、工程等の提案、調整等、2. 現場作業を効率的に行うための技能者の適切な役割分担等作業手順の決定、3. 他の技能者の施工に係わる指示、指導、4. 前工程・後工程に配慮した他の職長等との連絡調整。登録基幹技能者に必要な能力は、1. 吹付塗装の技術に熟達していること、2. 吹付塗装の技術に関連する知識、技術の進展等に対応していく力、3. 現場をまとめ、体系立った効率的な作業を実施するための管理能力、4. 塗装・吹付に携わる方。

### ■ 受験資格・手続き・経営審査 ■

平成14年~20年に外壁仕上基幹技能者に合格された旧基幹技能者の方は、制度が登録外壁仕上基幹技能者になるにあたり、特例講習を受講する必要があります。特例講習の実施は、21年10月から24年3月まで完了となりました。

### ■ 短信

近畿外壁仕上業協同組合の「新年の集い」は平成31年1月22日(火)午後5時より大阪市北区の「ウエスチンホテル大阪」(4F花梨)で開催予定。